

嗅覚×においセンサー×AIによる香りDX 「地酒の香りを見える化」して対インバウンド・海外輸出における販売力強化

採択事業者名 株式会社レボーン

コンソーシアム構成員 水口酒造株式会社 | 養老酒造株式会社

県内拠点設置 なし

所在・役割 ー

事業概要

1. 事業の狙い

昨年度までの取組で開発・国内ユースケース実装検証まで進捗した「日本酒香度®」の対インバウンド・海外輸出におけるユースケースをさらに具体的に確立するとともに、県内蔵元への面的な普及を進めることで、愛媛地酒の県外/海外消費者への販売力を向上する

2. 県内のターゲット事業者

- 日本酒製造メーカー(蔵元)
- 愛媛県特産品の販売・輸出事業者
- 清酒販売事業者や飲食店

3. 紐づく課題

- 実力に比して産地ブランド力に欠ける県内蔵元は、国内外問わず、日本酒を楽しむ際に「香り」「個性」「比較・多様性」を重視する層を取り込みたい

- 香りを十分に伝える客観的な表現手段がない、商品の特徴づけや多様化の方向性に迷う



4. 実施内容

- 6月～ 銘柄チャートの多言語化 (中国/簡体字、ブラジル/英・葡)
9月 香度による日本酒検索アプリ開発
香度を活用した首都圏イベント準備・実施
11月～ チャート多言語化(中国/簡体字、ブラジル/英・葡)
2月 国税庁事業活用、中国EC・LIVEコマース、欧州EC
12月～ 県内普及に向けた新規実装先候補への個別勉強会
2月 新規トライアル実装先チャート制作
既存実装先へのアプリ開発・試用
県内認知向上に向けた勉強会 x 2回



解決策(サービス/プロダクト)

【日本酒香度®による銘柄チャートや地酒マップ(多言語)】

- 実店舗販促ツールとしての表現マテリアル
- 香度をベースにしたフードペアリング情報
- 香度による日本酒検索アプリ
- 海外ECサイトへの掲載、Liveコマースでの活用



デジタル活用の要素

取得データ

- 香度: 日本酒(58銘柄)、センサー/AI予測精度
- 香度チャートが貢献した県内売上・輸出売上上の増分
- 表現に対する嗜好(蔵元、酒店、国内消費者、海外インポーター、海外消費者)、イベント利用での来場者関心や購買意欲刺激、掲示やアプリによる接客改善

データ活用による考察・示唆

- 「イベント利用でのアプリ→試飲(飲み比べやフードペアリング)→お酒の販売」といった導線と誘因の有効性が検証できた
- コンソ蔵元と国税庁の輸出促進事業での利用価値を発見、企画採択、実用での有効性を確認できた。特に実装検証済みであった海外商談会に加え、EC・LIVEコマースでも実売促進効果が実装検証された

成果と今後

成果(含む想定)

	実装前	実装後(～今年度末)	今後3年の見込み (～2028年3月末時点)
経済効果	県産地酒の売上創出: 14.4百万円(今年度単体) ・昨年度実装先3社 国内6.3百万円 海外1.4百万円 ・今年度実装先6社 国内6.3百万円 海外0.4百万円	➢13.7百万円 2022年度 -(サービス開発) 2023年度 国内売上増2.6百万円 2024年度 国内売上増6.6百万円 海外売上増3.3百万円 国内工数減1.2百万円	➢1.63億円 県内15事業者(蔵元)への展開を目標 香度が貢献できるタイプの商品につき 接客販売(日本人・インバウンド客)と EC販売の各セグメントで貢献 輸出売上27%増の貢献を継続
KPI進捗	① 有償での日本酒香度 チャート実装蔵元数 9社 ② 海外(インバウンドおよび 輸出)向け売上貢献度 15%増 ③ 勉強会経由での 新規の実装検討数 6社	国税庁事業を活用し、 精度高い実績作りを優先 2社 インバウンド接客売上: 10%増 欧州・中国向け輸出販売: 27%増 今後KPI実績②を根拠に 実装拡大を加速予定 4社	-
デジタル人材輩出	【アクティブ】 経常業務(販売)に導入し、直売拠点・イ ベント・販路開拓で活用 【ポテンシャル】 ①愛媛県特産品の販売・輸出事業者 ②清酒販売事業者・飲食店 【関心層】 勉強会参加の事業者・消費者・学生等	【アクティブ】 既存4社+新規4社 18名 【ポテンシャル】 ②既存2社 x 1名 2名 【関心層】 勉強会(2回)来場関心者 25名	【アクティブ】 15社 x 3名 45名 【ポテンシャル】 ①3社 x 2名 ②9社 15名 【関心層】 ①6社 x 2名 ②18社 36名
定性的/非連続な価値 (具体的な行動変容/組織変容など)	他県蔵元と共同体を組成して国税庁補助事業による輸出に取組み ・日本酒香度の外国語版(チャートやアプリ)を活用し、対インバウンド 酒蔵ツーリズムの整備を検討開始。特にトライアングルエヒメ採択企 業を含む観光支援事業者等との異業種間連携を契機付け・促進		

新規実装・協業に至った事例 ※県内

新規実装	協和酒造	既存実装先による紹介からトライアル中
新規実装	宇都宮酒造	県庁他部署による紹介からトライアル中
新規実装	成龍酒造	実装進捗を好感しトライアル希望
新規実装	宇都宮酒造	実装進捗を好感しトライアル希望
協業	on the trip	既存先(水口酒造)との3社協業を基本合意済

その他の“for 愛媛”要素

- 「伝統的造り」ユネスコ無形文化遺産の登録決定に際しNHK地域ニュース特集で実装先にて当サービスがクローズアップ(2024/11)
- 松山商工会議所、松山大学などが主共催する産学イベントに協力要請がかかるようになり、来県嗜好者層・ライト層への県内地酒の認知拡大に貢献